



## : es el pueblo quien protege al bosque de vida

エクアドル北部・コタカチ郡インタグ地方はアンデス山脈の裾野に位置し、この地を育む雲霧林という森林は生命の豊かさに満ち、世界でも類まれなる生物多様性の地です。一方で、その豊かな森の下には銅やモリブデンなどの資源が埋まっており、鉱山開発計画が何度も推し進められようとしてきた地でもあります。そしてなにより、そこには森と共に生きることを選択し20年以上にわたり鉱山開発計画に抵抗してきた村人たちが暮らしています。彼らは森林農法によるコーヒー栽培やサイザル麻手工品のフェアトレード、小水力発電、エコツーリズムなど、破壊的な開発とは別の発展の道を求め模索し続けています。現地の写真家や村人たちの撮影した写真が描き出す、彼らの愛する自然や故郷の姿をぜひご覧になってください。

※このプロジェクトは「パタゴニア環境助成金プログラム」の助成を受けています。

### □ 写真展 主な出展者

#### カルロス・ソリージャ

1951年キューバ出身。1979年よりエクアドル・インタグに暮らす。森林栽培コーヒー生産、エコツーリズム、サイザル麻カバヤの民芸品などを営む。環境保護団体デコイン (DECO IN) 会長。インタグの自然を撮り続ける写真家でもある。

#### 和田彩子

1975年生まれ。1999年エクアドルを訪れ、インタグの自然と人々の取組に魅せられ、2002年以来インタグで暮らす。環境文化NGOナマケモノ倶楽部、(株)ウィンドファームのエクアドルスタッフとして、エクアドルと日本の橋渡しをしている。自身も家族で有機農園を営んでいる。

### □ 写真展 キュレーター

#### 柴田大輔

フォトジャーナリスト(フリーランス)。1980年茨城県出身。2006年よりコロンビアを中心にメキシコ、エクアドル、ペルーで主に先住民族の日常や社会活動取材し続ける。



エクアドル・インタグ SOS キャンペーン

### ひと・まち交流館 京都 1F 作品展示コーナー

京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町 83-1 (河原町五条下る東側)

市バス 4, 17, 205号系統「河原町正面」下車

